

## 30年7月分

## 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

## 1. 調査実施期間

平成30年 7月1日～ 28年7月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
7月分の回答企業数は43社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	4.4	△ 6.1	1.6
	外材	3.8	△ 6.3	0.0
販売動向	国産材	8.8	△ 5.9	7.8
	外材	2.5	△ 11.3	10.5
在庫動向	国産材	0.0	△ 4.4	△ 4.7
	外材	7.7	△ 7.7	△ 1.3

・国産材の仕入動向は7月の増加から8月は減少、9月は再び増加に。外材は7月の増加から8月は減少、9月は横ばいに。

・国産材、外材の販売動向は7月の増加から8月は減少、9月は再び増加に。

・国産材の在庫動向は7月の横ばいから8月、9月は減少に。外材は7月の増加から8月、9月は減少に。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	30/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	0.0	2.1	2.3
スギ正角(KD)	△ 1.9	1.9	2.0
ヒノキ正角	0.0	3.4	5.6
ヒノキ土台角	3.6	3.6	3.8
米ツガ正角(現地挽)	18.2	15.9	6.8
米ツガ防腐土台角	16.7	4.2	2.1
米ツガ割物(現地挽)	31.8	15.9	11.4
米マツ平角	10.3	3.4	1.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	10.0	13.3	10.3
ホワイトウッド集成管柱	5.2	5.2	7.4
レッドウッド集成平角	4.2	6.3	4.3
型枠合板(輸入)	18.0	8.0	8.7
針葉樹構造用合板	10.0	0.0	6.5
針葉樹構造用合板(厚物)	6.0	2.0	6.5

・スギ正角はグリーン、KDとも保合。  
・ヒノキは正角、土台角とも保合。  
・米ツガは全般的に入荷が少なく正角(現地挽)、土台角、割物(現地挽)とも強含み。  
・米マツ平角は横ばい。  
・北洋アカマツタルキ(現地挽)はやや強含み。  
・ホワイトウッド集成管柱は保合。  
・レッドウッド集成平角はやや弱含み。  
・型枠合板(輸入)強保合。  
・針葉樹構造用合板は厚物を含め保合。